

大型車の後退時対策について（状況報告）

1. 背景

- 10 月 3 日、徳島県において、盲導犬を連れた視覚障害者の方が、歩道のない道を歩いていたところ、道路から資材置き場に入ろうと後退中のトラックにはねられて死亡する事故が発生。
- 事故発生時には、後退時に注意を促すブザーが鳴らなかった模様※。
※ 事故の状況については、警察が調査中
- 当該ブザーは、法令で義務付けられたものではないものの、現在、全てのトラックに標準装備されている。またその一方で、音の発生を手動で停止する機能などが付いている。
- 事故を受け、国土交通省では、10 月 15 日、トラック業界などの関係団体に対し
 - ・ 車両の後退、進路変更等の際には、バックミラー等により周囲の安全を十分に確認すること
 - ・ やむを得ない場合を除き、後退時に注意を促すブザーのスイッチを切らないことなどを求める通達を発出したところ。

2. 今後の予定

- 全国各地で開催されるトラック事業者を対象とした講習会の場等、あらゆる機会を捉え、大型車の後退時の安全確保について周知徹底を図る。
- 現在、中央交通安全対策会議において策定が進められている第 10 次交通安全基本計画（計画期間：平成 28～32 年度）において、車の安全対策として「大型車の後退時対策、高齢者や視覚障害者にも配慮した安全対策」を新たに盛り込んだうえで、大型車における後退時の安全対策について、交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会技術安全ワーキンググループで検討する。